

令和2 年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価		
作成日		令和3年3月1日
法人名		園 名
八葉福祉会		幼保連携型認定こども園 津田このみ学園
まとめ		全体平均 3.91
第2章第2節 乳児期の園児 の保育	育児担当性を取り入れ愛情のこもった応答的な関わりを持つ。子ども一人一人の存在を大切にし家庭的な雰囲気のもとで子どもと関わっている。	
第2章第3節 満1歳以上満3 歳未満の園児 の保育	子ども一人一人の生活や情緒の安定を図りながら、自分でしようとする気持ちを尊重し、温かく見守るという目標にし保育出来ていると思われる。逆に援助しすぎてないか見直し自らやってみたいの気持ちを高めていきたい。	
第2章第4節 満3歳以上の 園児の教育及 び保育	子ども一人一人の個性や発達を理解し、気持ちに寄り添いながら子ども達が集団生活の中で安心・安定し、主体的に身近な環境にかかわり自己発揮して様々な体験ができてきている。子どもの声に耳をかたむけ、いろんな体験ができるよう環境を作っていきたい。	
第2章第5節 教育及び保育 の実践に関わ る配慮事項	衛生面に十分注意しながら安心して過ごせる環境が出来ていると思われる。探求心をくすぐるような環境がつけられているか、子どもの行動や気持ちを認めながら焦らず援助したり、見守る大切さを改めて感じている。	
第3章 健康及び安全	食育への取り組みの充実、自然とのかかわりなど評価できる体験が出来ていると思う。施設の安全性や災害発生時の対応も命を守るために真剣に取り組んでいる。さらに危険度が高い災害やさまざまな状況を考えて地域の方や関係機関との連携を深めていきたい。	
第4章 子育ての支援	子どもの成長をドキュメンテーションやSNSや動画を活用して、子どもの成長をわかりやすく伝えている。コロナ禍ということで今年度は園内での活動を取り入れる事は難しい部分はあったが、畑や園庭など利用したり、公民館や地域の人材と協力しながら親子が温かな雰囲気の中過ごせるよう努めていった。	
第5章 職員の資質 向上	職員の専門性を高めるため、外部の公開保育に参加したり、学んだ事を実践に生かしていきたい。研修で得た知識などを園内研修に生かし職員全体の専門性の向上に努めたいが、限られた勤務時間の中でどう取り組んでいくか今後の課題である。	
総合	子どもが安心感と信頼感をもって生活し、安定した情緒の下で想像力を発揮するために必要な環境を整える。子どもの主体的な行動、興味関心がある活動、遊びの展開を認め、感動を生む体験を積み重ねる。子どもの生涯を見通し自然界の命ある存在を認め、お互いを思いやり、やさしさ、温かさを育む。など理念を忘れず子ども達一り、人一人に丁寧にかかわる事により、全体的に充実してきていると思われる。自己評価をすることにより、園のよさや改善点がわかり今後改善する事で、より質の高い保育を目指していきたい。	
データ表		
内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	4.27
「3歳未満児保育」	32	3.97
「3歳以上児保育」	53	3.81
「教育保育の配慮事項」	16	4.13
「健康・安全」	29	3.90
「子育ての支援」	18	3.50
「職員の資質向上」	9	4.11
計	172	3.91
データグラフ		